

# ホ ッ ケ ー

専門委員長 福 井 健 持



平成30年12月に行われた全国選抜では、10年ぶりの出場を果たした富岡西が、初戦を強豪校山梨学院と対戦し0対5で敗れました。令和元年6月に行われた、県総体では阿南光が2対1で富岡西に勝利し四国大会への出場権を獲得しました。早い段階で阿南光が先制点を奪い流れをつかんだかに思われましたが、追加点を取れず一進一退の攻防が続くなか、富岡西が得点し1対1とお互い一步も譲らない展開になりました。しかし直ぐさま阿南光が追加点を挙げ2対1で決着しました。負けたら終わりという緊張感のなか、3年生の集大成としてふさわしい試合となりました。令和元年6月四国選手権では、決勝戦で阿南光は高松東と対戦し、惜しくも1対3で優勝を逃しました。高松東の早いカウンターに対応が遅れたことが敗因の一つです。代表決定戦では、伊予高校との再戦となりました。敗戦から、悪い雰囲気です試合がスタートし、先制を許しましたが、試合の終盤に同点に追いつき1対1で試合が終了しました。SO戦に勝負が委ねられました。サドンデス10人目までもつれ込む大接戦となりましたが、5対4で阿南光が激戦に勝利し全国出場を

決めました。令和元年7月に行われた、全国総体では、1回戦で阿南光は沼宮内と対戦しました。強豪校相手に身構えて挑んだ初戦でした。セットプレーでの失点を許し1対4で負けましたが、最後に得点することができ、今後に繋がる良い経験となりました。令和元年11月に行われました、四国選抜では準決勝で阿南光は5対2で高松東を破り総体の雪辱を果たしました。決勝でも阿南光は1対0で伊予に勝利を収め見事優勝を果たしました。全学年で切磋琢磨した活動ができていたことで、チーム全体がレベルアップしていたことが勝因です。前身の阿南工業を含めて5年ぶり14回目・阿南光高校単独では初優勝となりました。国体四国予選には少年女子チームが2年ぶりの出場を遂げました。結果は惨敗でしたが、2年生を中心とし強豪校相手に60分間戦い抜きました。慢性的な部員不足に悩みながらも、阿波西・富岡西・阿南光3校の選抜チームでの出場は初めてのことであり、大きな一歩を踏み出せたと感じています。四国インターハイを3年後に控えた今、このチャンスを生かすことができるかで、女子チームは存続が決まっています。ホッケーは、世界で人気のスポーツで、日本は男女とも東京オリンピックに出場します。競技人口が少ないからこそ、大きなチャンスにも恵まれている競技です。ホッケーの魅力を多くの人に知っていただき、徳島インターハイで徳島を元気にしたいと強く思っています。

◎全国高校選抜大会 平30.12.22～26  
於 立命館OICフィールド

<男子>

2回戦

富岡西 0 - 5 山梨学院

◎徳島県高等学校選手権大会 平31.4.13  
於 中浦緑地ホッケー場

<男子>

決勝戦

阿南光 3 - 0 富岡西

◎徳島県高校総体 令1. 6. 2

於 中浦緑地ホッケー場

<男子>

決勝戦

阿南光 2 - 1 富岡西

◎徳島県高校選抜大会 令1.10. 6

於 中浦緑地ホッケー場

<男子>

決勝戦

阿南光 2 - 1 富岡西

◎四国高校選手権 令1. 6. 15・16

於 三菱化学坂出事業所人工芝グラウンド

<男子>

1回戦

阿南光 2 - 1 伊予

決勝戦

阿南光 1 - 3 高松東

第二代表決定戦

阿南光 1 - 1 伊予

SO戦 5 - 4

◎四国高校選抜大会 令1.11.16・17

於 三菱化学坂出事業所人工芝グラウンド

<男子>

1回戦

阿南光 5 - 2 高松東

決勝戦

阿南光 1 - 0 伊予

◎全国総体 令1. 7.27 ~ 31

於 KIRISHIMAヤマザクラ宮崎県総合運動公園

<男子>

阿南光 1 - 4 沼宮内 (岩手)



競う

阿南光高校 2年 石田 美月